



その時、浜田海岸では地震発生後、約15分で津波第1波が約4mの高さで到達しました。その後海水はほとんど引退し（写真・上）、次に、第2波・第3波と来襲することになります。第1波で1個8トンもあるテトラポットが飛散した様子が見られます。これらの現象は八峰町沿岸全域に及び、小入川Aさん宅では住宅が全壊、そのときの様子を次のように話しています。「地震のあと、間もなく岩と岩がぶつかったようなゴロンゴロンという音と、ゴーツという水の音が混じったものす

### 日本海沿岸地帯は短縮変形が進行中

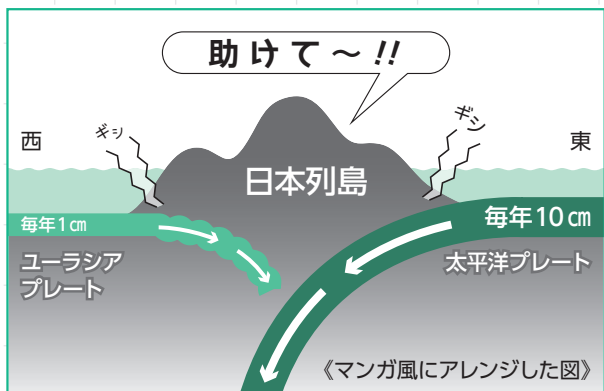
合川南小学校児童13名をのみ込んだ大津波は1983年5月26日に発生した日本海中部地震と命名された大地震によるものでした。当然ながら八峰町でも甚大な被害を受けました。その前年、奇しくも旧八森町の児童・6年生は修学旅行先を岩手県の田老町に決め、1933年の大津波から逃げおせた当時小学生だった古老から、その時の体験を語っていただきました。翌日、10mの高さがある防潮堤を歩きながら、町並みがすっかり守られている様子をつぶさに見学してきました。翌年私たちが津波に襲われることになろうとはつゆ知らずに……。

### 八峰町の子供たちは田老町を見つけた

合川南小学校児童13名をのみ込んだ大津波は1983年5月26日に発生した日本海中部地震と命名された大地震によるものでした。当然ながら八峰町でも甚大な被害を受けました。その前年、奇しくも旧八森町の児童・6年生は修学旅行先を岩手県の田老町に決め、1933年の大津波から逃げおせた当時小学生だった古老から、その時の体験を語っていただきました。翌日、10mの高さがある防潮堤を歩きながら、町並みがすっかり守られている様子をつぶさに見学してきました。翌年私たちが津波に襲われることになろうとはつゆ知らずに……。

執筆 工藤 英美

ごい音がしました。津波だと思い、とつさに壁にかけてある手綱帯を持って寝たきりでいるおばあさんに近づいた途端、真っ黒い泥水が玄関や窓からドツと入ってきました。おばあさんにパツと覆い被さったとき、私は意識がなくなりました。幸いにして助かったのですが、気がついたらおばあさんをつかり右腕に抱いていました。「ベツトが舟の役割をはたし、二人を屋外に流しだしたものだつたようです。去る4月14日、秋田大学名誉教授白石建雄先生からご講演をいただきました。それが、その中で標記のお話がありました。日本の東南海底に広がる太平洋プレートが毎年10cmの速さで日本列島方向に移動していて、また日本海海底に広がるユーラシアプレートが毎年1cmの早さで、これもまた日本列島方向に移動しているという。すると日本列島は両脇から押し縮められている格好になり「苦しいよ」と悲鳴を上げています。状況にあることになりました（下右図）。この方に耐え切れず、ついに一気に地層が切れたとき地震となるのだそうです。写真下はこの度の津波が田老町を襲った様子が撮られたものです。子供たちが歩いた10mもあるあの防潮堤をいとも簡単に乗り越え、守られるはずだった町並みが全く見えなくなりました。写真 海上自衛隊提供



岩手県宮古市の田老地区(旧田老町)を襲った大津波 (写真 海上自衛隊提供)

# ポンポコ山公園は魅力がいっぱい

## 迫力満点の楽しい遊具と 眺めのいい遊歩道を整備

町では、平成21年度から3カ年事業として、ポンポコ山公園整備事業を進めています。このほど22年度事業が完了し、サンセットタワーに隣接された「ジェットローラーズライダー」（表紙写真）を始め、ロープウェイやネット遊具、ブランコなどの遊具が設置されました。また、公園内を外周する散策路も新たに整備されたほか、約1万5千株の草花も植栽され、ポンポコ山公園には新たな魅力がいっぱいです。どうぞ、たくさんの方々の来園をお待ちしています。



大人気!! ネット遊具



ロープウェイ



歩きやすい散策路



定番のブランコ

### 遊具類を充実

平成22年度の整備事業では、新しく遊具を設置しました。定番のブランコを始め、座面がローラーとなっているジェットローラーズライダー、ネット遊具、ロープウェイといった小さな子ども向けの内容となっています。

### 散策路をリニューアル

散策路は、コース延長を伸ばしたほか、数か所の休憩場所や分岐ルートを新たに設けるなどリニューアルしました。また、利用者の脚への負担が軽減されるよう、歩道の舗装には、樹皮を細かくしたもの敷き、クッション性を高くしています。

### 48種類の草花を植栽

カントリーガーデンには、ラベンダーを始めとした48種類の草花約1万5千株を植栽しました。これから色とりどりの花が咲き、来園する人たちの目を楽しませてくれます。

### 23年度の主な工事内容

ポンポコ山公園の再整備事業の最終年となる今年度は、たくさんの方々からポンポコ山公園を快適にご利用いただけるよう次の3つの工事を予定しています。

- ① 既存のふるさと交流センターを解体し、② 新たにパークセンター（管理棟）を建設します。また、③ 人気の高いバッテリーカー広場を拡張し、様々なタイプのバッテリーカーとおもしろ自転車を導入することとしています。

特に、「雨の日に遊びに行く場所がない」という声が多く聞かれることから、新築するパークセンター内に、屋内でも小さな子どもが遊ぶことができる場所を設けるなど、通年利用のための工夫を取り入れることとしています。

## おねがい

工事車両に気をつけてください。工事期間中は、多くの工事車両が往來しますので、交通事故には十分気をつけてください。

問合せ先 八峰町産業振興課 観光係  
TEL 76-4605